

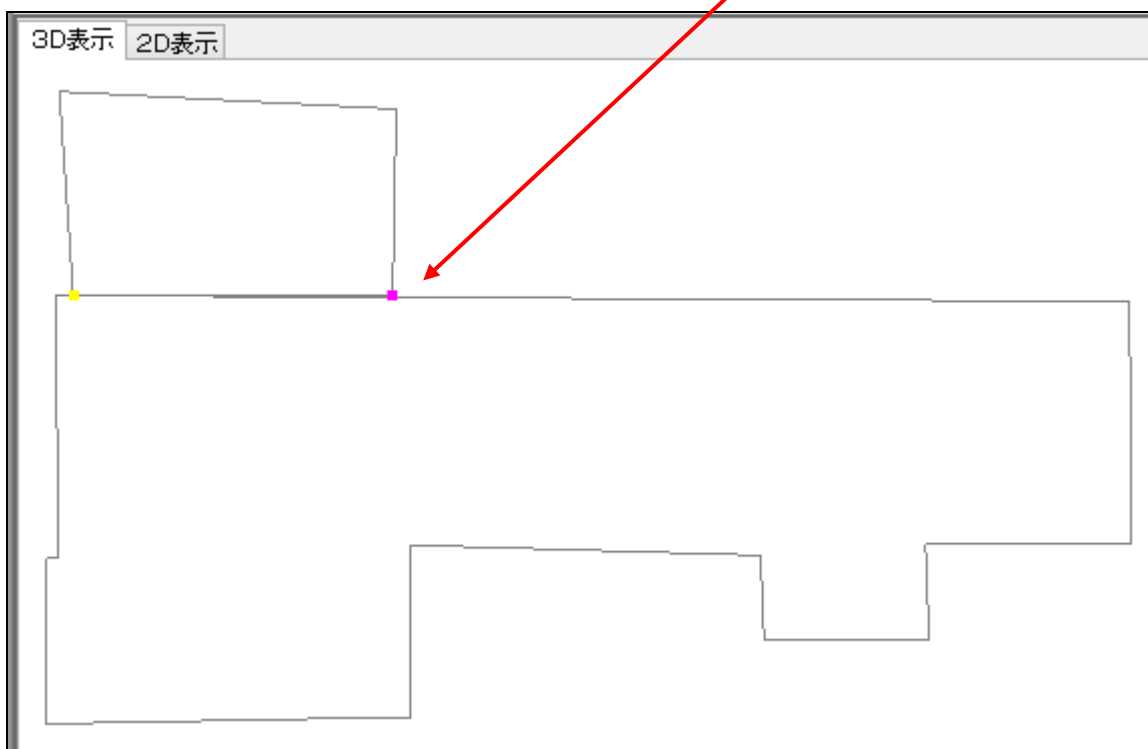
目次

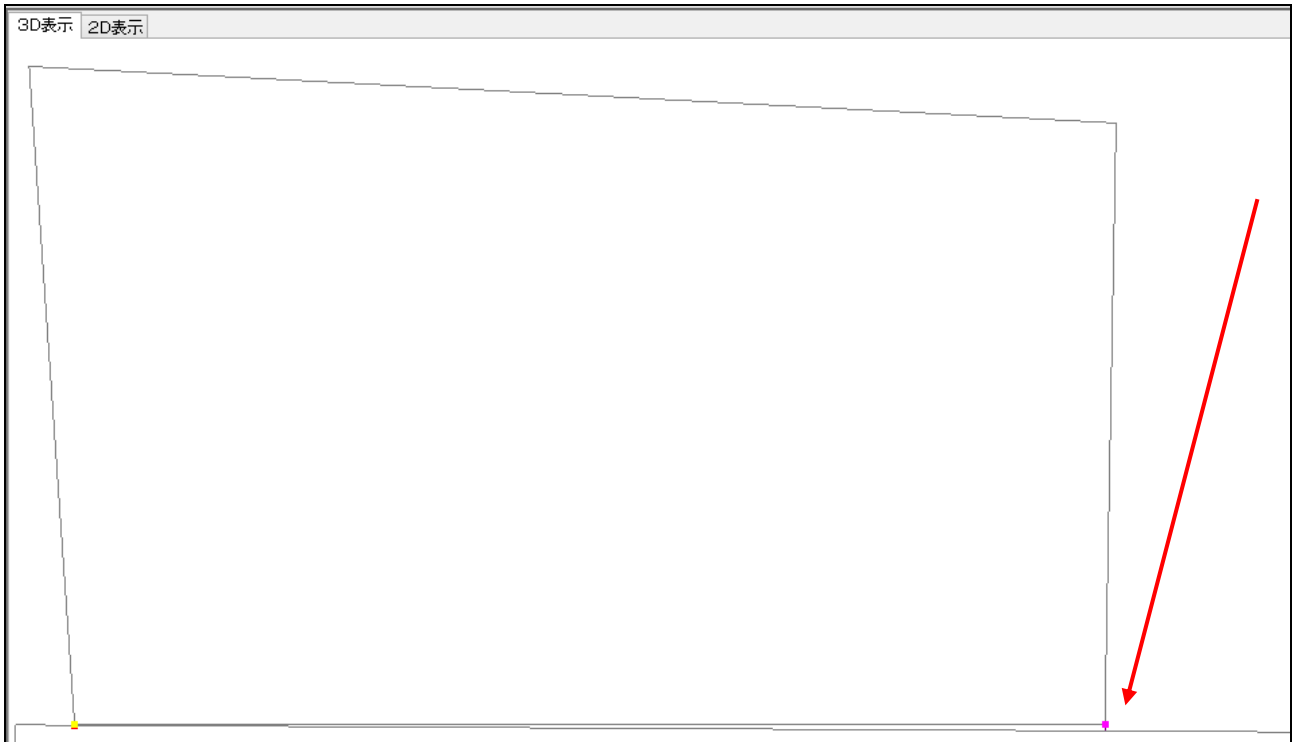
1. 機能	1
2. ダイアログ	2
3. チェック方法について	3
4. 更新記録	4

1. 機能

開いているポリゴンのシェープファイルについて、ポリゴンとポリゴンの隙間を調べます。

建物のポリゴンについて、本来、隣接すべきところで離れている個所(隙間)を検出するために作成したメニューです。





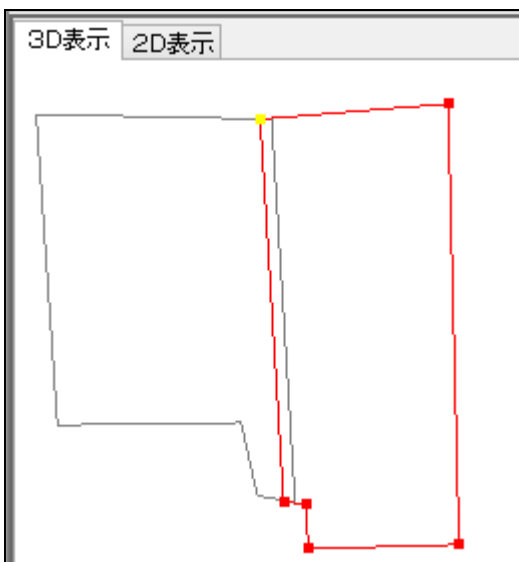
上図は、隙間の個所を拡大した例です。

先に、メニュー

ポリゴンの重複(ファイル内)

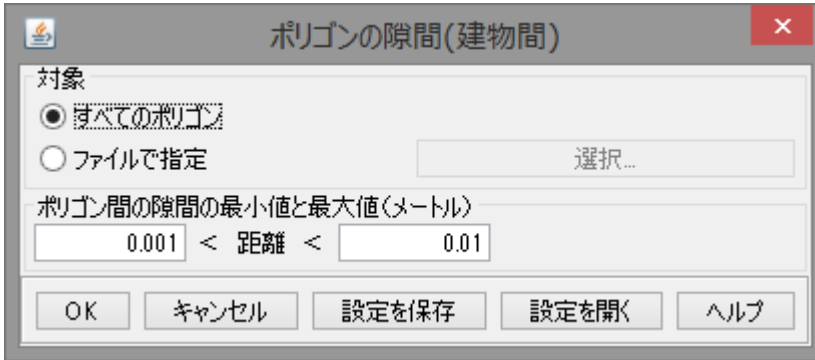
<http://www.geocoach.co.jp/help/CommonPolygonOverlapDialog.pdf>

で、ポリゴンとポリゴンの重なりを調べ、重なりがない状態に編集してから、このメニュー「ポリゴンの隙間(建物間)」を使って下さい。アルゴリズム上、ポリゴンとポリゴンが重なっているケースも検出します。



上図では、ポリゴンとポリゴンが重なっているケースを検出した例です。

2. ダイアログ

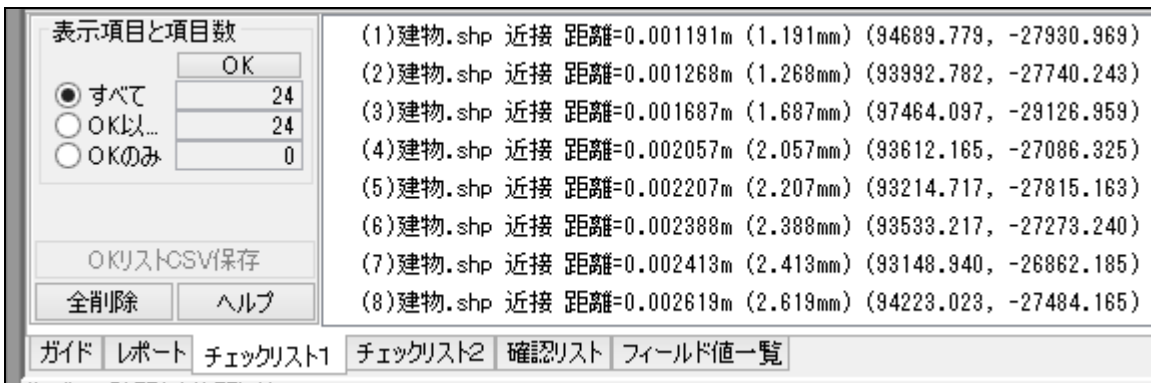


対象

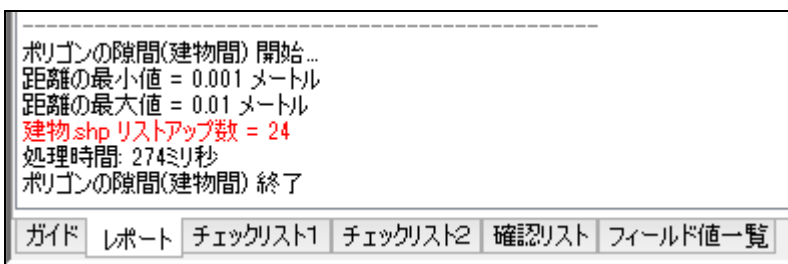
開いているシェープファイルのうち、チェックするファイルを指定します。

ポリゴン間の隙間の最小値と最大値（メートル）

ポリゴンとポリゴンの隙間の最小値と最大値を指定します。



ポリゴンとポリゴンの距離が小さい方からリストアップします。



リストアップした数をレポートします。

3. チェック方法について

ポリゴンのシェープファイルが対象です。

- ①各ポリゴンの各線分について、次の処理を行います。
- ②線分の始点と終点について、次の処理を行います。
- ③始点・終点から、他のポリゴンでの最も近い線分上の XY 座標を計算します。始点からの距離と、終点からの距離を

比較し、短い方を採ります（距離 L とします）。この距離 L が 0.0 の場合、ポリゴンが隣接しているとして、処理終了。

④距離 L がダイアログで指定された範囲内の場合、リストアップします。

4. 更新記録

2018/02/22

✓このメニューを作成